

■西国立駅周辺地区まちづくり構想策定に向けた意見交換会(第1回) 主な意見等の概要および市の意見

意見交換会(第1回)で皆様からいただいたご意見、ご質問の概要および市の意見は以下のとおりです。
 貴重なご意見等ありがとうございます。
 今後、まちづくり構想を策定していく上で、参考とさせていただきます。

- ◆日 時 : 令和2年7月24日(祝・金)PM2:00～3:00、令和2年7月27日(月)PM7:00～8:00、令和2年7月28日(火)PM7:00～8:00
 ◆場 所 : たましんRISURUホール第1会議室(7月24日・27日)、子ども未来センター201・202会議室(7月28日)
 ◆参加者数 : 32名(7月24日)、31名(7月27日)、11名(7月28日) 合計74名

主な意見・質問の概要	市の意見
【1】連続立体交差事業について	
連続立体交差事業を行うことは決定事項ですか。	JR南武線の矢川駅～立川駅付近の区間については、東京都が連続立体交差計画の事業化に向けて構造形式や施工方法等に関する調査・検討を行っている段階であり、現段階では実施時期や構造形式、事業費等は未定です。連続立体交差事業の大まかなスケジュールとしては、都市計画素案を作成し、環境影響評価の手続きを行い、都市計画決定後に工事着手する流れとなります。工事期間は一般的に10年、20年かかる事業となります。 また、連続立体交差事業の基本的な事業費負担の枠組みは、「都市における道路と鉄道との連続立体交差化に関する要綱」に基づき、総事業費のうち都市側負担が90%、鉄道側負担が10%となります。都市側負担のうち、国負担が50%、地方負担が50%となり、地方負担のうち東京都負担が70%、沿線市負担が30%となります。つまり、沿線市の負担は全体事業費の13.5%となります。 JR南武線が連続立体交差化されると、都市計画道路をはじめ、JR南武線と交差する道路については、踏切のない平面的な道路になり、交通渋滞や踏切事故が解消されます。なお、具体的な事項については今後検討されていくこととなります。
連続立体交差事業の実施時期はいつ頃ですか。	
連続立体交差事業の構造形式は決まっていますか。	
連続立体交差事業の事業費はどれくらいですか。	
連続立体交差事業に伴い沿線の住宅や店舗は移転しなければならないのですか。	
工事の際、騒音対策はされますか。	
西国立駅舎を矢川駅側に移転することは可能ですか。	
立3・3・30号線と連続立体交差事業の関連性はありますか。	
西国立駅西側に改札を増設してほしい。	
南武線の連続立体交差化事業は必要だと思うし、賛成です。	
連続立体交差化により、羽衣町と錦町が一体的になることはうれしい。	
【2】駅周辺のまちづくり全般について	
西国立駅を中心とした地域には、立川駅のような外から人を呼び込む商業中心ではなく、生活を中心としたにぎわいをつくることで、市民及び近隣施設利用者にとって利便性の高いエリアにしてほしい。	駅周辺のまちづくり全般について、多様なご意見をいただきました。現時点では、具体的なまちづくりの計画は未定ですが、皆様のご意見を参考に西国立駅周辺地区まちづくりの検討を進めていきたいと考えています。
西国立駅前で不便さは感じていないため、駅周辺の整備は必要最低限とし、基本的には閑静な住宅地のままにしてほしい。	
あたらしいまちづくりの中でより賑わいのある地域に変化していくことも重要だと思う。	
吉祥寺のようなアーケードのあるまちにしてほしい。	
今後見込まれる学生の往来増加を考慮した計画にしてほしい。	
高齢社会になり病院もあるので、市民が憩い集える場所の多いまちづくりを期待する。	
子育て支援施設(保育園、学童保育所等)、教育・文化施設(図書館等)や医療施設(保健所等)等の生活利便施設を中心に構想を考えてほしい。	
まちづくりをするうえで、公共施設の老朽化に伴う施設再編は行うのですか。	
公共施設の見直し等、いろいろな計画があるが、高架に伴うまちづくり等とのリンクが必要ではないか。	
まちづくりに係る費用はどれくらいですか。	
都市計画で用途地域の変更は行うのですか。	
集客力が上がるような計画であれば交番もしくは派出所の設置(誘致)を強く要望する。	
【3】土地利用について	
商業的なものではなく、住民の皆さんと触れ合える文化的な施設を整備してほしい。	まちづくり構想では、目指すべきまちの将来像を示すとともに、「土地利用」、「道路・交通」、「緑・景観」の3つの分野ごとに取り組みの方針を定めたいと考えています。 土地利用に関しては、駅周辺への生活利便施設や都市機能の誘導などを望む意見がある一方、落ち着いた環境を維持することを望む意見も多く聞かれました。皆様のご意見を参考に、西国立駅周辺地区まちづくりの検討を進めていきたいと考えています。 西国立駅西側にある、国有地が大部分を占める街区(錦町四丁目12番)は、国家公務員共済組合連合会立川病院(以下「立川病院」という。)が集約化されたことにより国に返還された土地であり、現在は財務省によって管理されています。駅前の好立地であり、現状として大部分が更地であることから有効活用を望む意見が多く聞かれ、地域の方々の関心の高さがうかがえました。 国有地の管理処分に関する近年の考え方として、有用性が高く希少な国有地は国が所有権を留保し、売却せずに定期借地権による貸付を行い最適利用を図る方針であると聞いており、この様な考え方の下、今後まちづくりの検討について協議を国と行っていききたいと考えています。 なお、現在この街区の一部に建設中の建物ですが、再編に伴い立川病院が所有していた土地について処分が予定されていたため、まちづくりの種地として市が取得し、暫定利用として学童保育所を設置する予定となっています。
可能であれば共同化や再開発事業を活用して駅前空間を効果的に活用してほしい。	
駅前のお寺や墓地はそのままにしてほしい。	
墓地はあってもいいと思う。歴史と近代の融合もありかと。	
病院もあるので、ちょっと休むスペースのあるスーパーがほしい。	
駅西側の街区の国有地(以下「国有地」という。)の活用についての市の考え方は。	
国有地は放置するのではなく、当面の利用方法等を考えてもらいたい。	
改修されていない立川病院施設と国有地に建っている旧自衛隊施設の今後の方向性は。	
駅西側の街区に建てているものは何か。	
西国立駅周辺を立川駅北口のようなエリアにするために、国有地に店舗等の誘致をし、西国立駅周辺のイメージを向上してほしい。	
積極的な民間活用、誘致により日常生活の利便性が高まるまちづくりとなるように期待する。例えば、フィットネススクラブ、スーパー銭湯、ファミレス、ドラッグストア、スーパー、飲食店等。	
国有地にスポーツ施設や50mプール等の市民が集まる施設を作してほしい。	
温泉施設(サウナなどのスパもあるので)やホームセンターなども国有地で可能ではないか。	
高齢化にむけて、すべての年代が安らげるスパ施設を国有地に建ててほしい。(コミュニティ広場も含めて)	
錦町側は店も少ないのでカフェなどの店などの誘致(病院側と連携して)も希望する。	
国有地は公園にしてほしい。	

【4】道路・交通について	
連続立体交差事業に先行して、駅前広場を整備してほしい。	西国立駅周辺地域まちづくりを進めるうえで駅前広場とアクセス道路は必要と考えており、将来的な駅利用者の状況を想定し、適正な規模や配置を検討していきます。次回の意見交換会で、駅前広場や駅前広場へのアクセス道路について、皆様のご意見を伺いたいと考えています。 また、やすらぎ通りについては、立川駅南口と本地域をつなぐ回遊ネットワークの軸として考えており、西国立駅との接続の在り方について検討していきたいと考えています。その他の狭い道路で防災面や安全面で支障がある箇所等については、皆さんの意見を踏まえた上で検討していきたいと考えています。
バスが駅前に入れるようにしてほしい。	
タクシーやリムジンバスも入れるロータリーがあるといい。	
西国立駅と立川駅南口との関係性を考えるべきであり、つなぐ道路の検討をしてほしい。	
歩行者、自転車空間の整備を駅までつなげてほしい。	
やすらぎ通りの整備については、踏切を超えて、羽衣いちょう通りまで延伸してほしい。	
側道整備に伴い、東口と羽衣いちょう通りとのアクセス道路の整備をしてほしい。	
緊急車両が侵入できる広い道路を望む。	
現在の道路状況、駅のあり方に全く不満はない。	
現在の駅前道路はそのまがが良い。車の通れるばかりが良いのではない。	
交通量が増え危なくなるので、必ずしも道路を広げることだけを考えないでほしい。	
道は狭小であったり、一方通行であったりしますが、逆に通過交通を少数にすることができているので、問題とは思っていない。	
踏切の解消による交通状況の改善については進めるべき。	
スピードアップはよいが、安全管理はちゃんとしてほしい。	
【5】緑・景観について	
早期に国有地を公園用地として取得し、植物の保護及び高木についてはシンボルツリーとして保存してほしい。	まちづくり構想の分野別方針の1つとして、「緑・景観」の取組方針について皆さんの意見を踏まえた上で定めていきたいと考えております。 なお、樹木診断による診断結果により、台風での倒木や人がいる場所に枝等が落ちたりする危険性のある樹木については、やむを得ず伐採しておりますので、ご理解ください。
水や緑の多い洗練エリアにしてほしい。	
緑が多い町にしてほしい。	
立川病院の緑地とつながり感のある自然（緑）豊かなスペースになってほしい。	
やすらぎ通りの拡幅整備に伴い、多くの桜が伐採されてしまった。コンクリートばかりでなく、緑豊かなまちにしてほしい。	
池や樹木など残せるところは残してほしい。	
【6】今後の進め方等について	
今後住民の意見を参考に進めていってほしい。	市では、地域の方との意見交換会や説明会の開催、パブリックコメントなどを経て、まちづくり構想を策定したいと考えています。意見交換会等でのご意見については、後日市のホームページに掲載し、意見交換会以外でも、随時市ホームページの問い合わせフォームから意見を受け付けています。 また、構想策定後も引き続き、構想を具現化していくため、地域の皆様と連携して勉強会やワークショップ等を開催し、まちづくりに向けた調査・検討を進めていきたいと考えています。 なお、WEB開催については、現状では設備面での課題があり困難な状況ですが、貴重なご意見として、今後の運営の参考とさせていただきます。
パブリックコメントをとってほしい。	
10年～20年後の街づくり構想であれば、若い人の意見を多く取りいれてほしい。小中学生からのビジョンを聞く機会や若者（20～30代）のグループ討論会などしてほしい。	
もっと広く市民の声を聴いて進めていく必要があると考える。	
西国立駅周辺エリアは、住宅がメインで、プラスαで病院や大学等近隣施設利用者等、今現在の駅周辺利用者以上対象者を必要以上に増やす必要はないように感じます。	
次回からWEB開催（ZOOM webexなど）を希望する。 Webを使えない高齢者のために会場とwebのハイブリッド開催等。	
【7】その他	
たましんRISURUホール東側の公園と北側駐車場、立川病院の公開空地に連続性を持たせ一体となるようにしてほしい。また、南池袋公園のように段差などをなくフラットにしてほしい。	たましんRISURUホール周辺については、市が平成22年に策定した「旧庁舎周辺地域グランドデザイン」に基づく公共公益ゾーンとして、隣接する医療施設ゾーンとの調和を図りながら生活文化拠点の形成に取り組んでいきます。
ステキな街作りをよろしくお願いします。	
周辺に住む人たちが普段何を思っているのか聞けて楽しかったです。	